大規模な肉用牛生産施設

●農機具展示会場

農機化が進む近代農業

農業祭で賑わう野菜品評会場

●セロリのハウス園芸

●実りの秋に向けて農薬散布

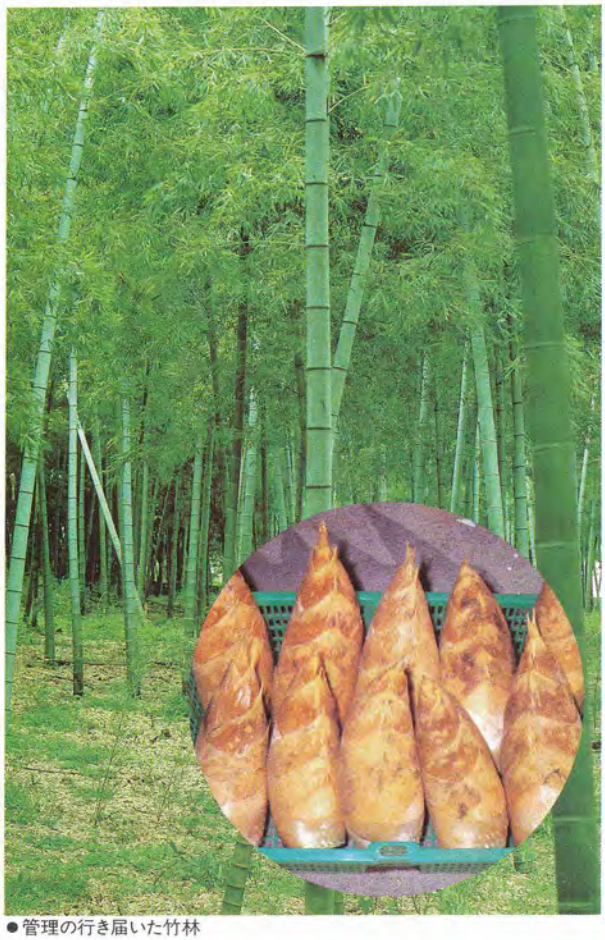
●姶良鶏卵

林業

総面積の約六四%を占める山林は温暖多雨な気象条件に恵まれ成育良好なスギ、ヒノキの生産や竹林三六〇haには、早掘たけのこ等の特産品づくりに力を入れています。

今後生産性の高い林業を実現するため林業振興地域整備計画に基づき、生産基盤の整備・除間伐の促進・協業化並びに生産流通の近代化をはかり、またミュウガ、タケノコ等の特用林産物との複合経営を推進します。

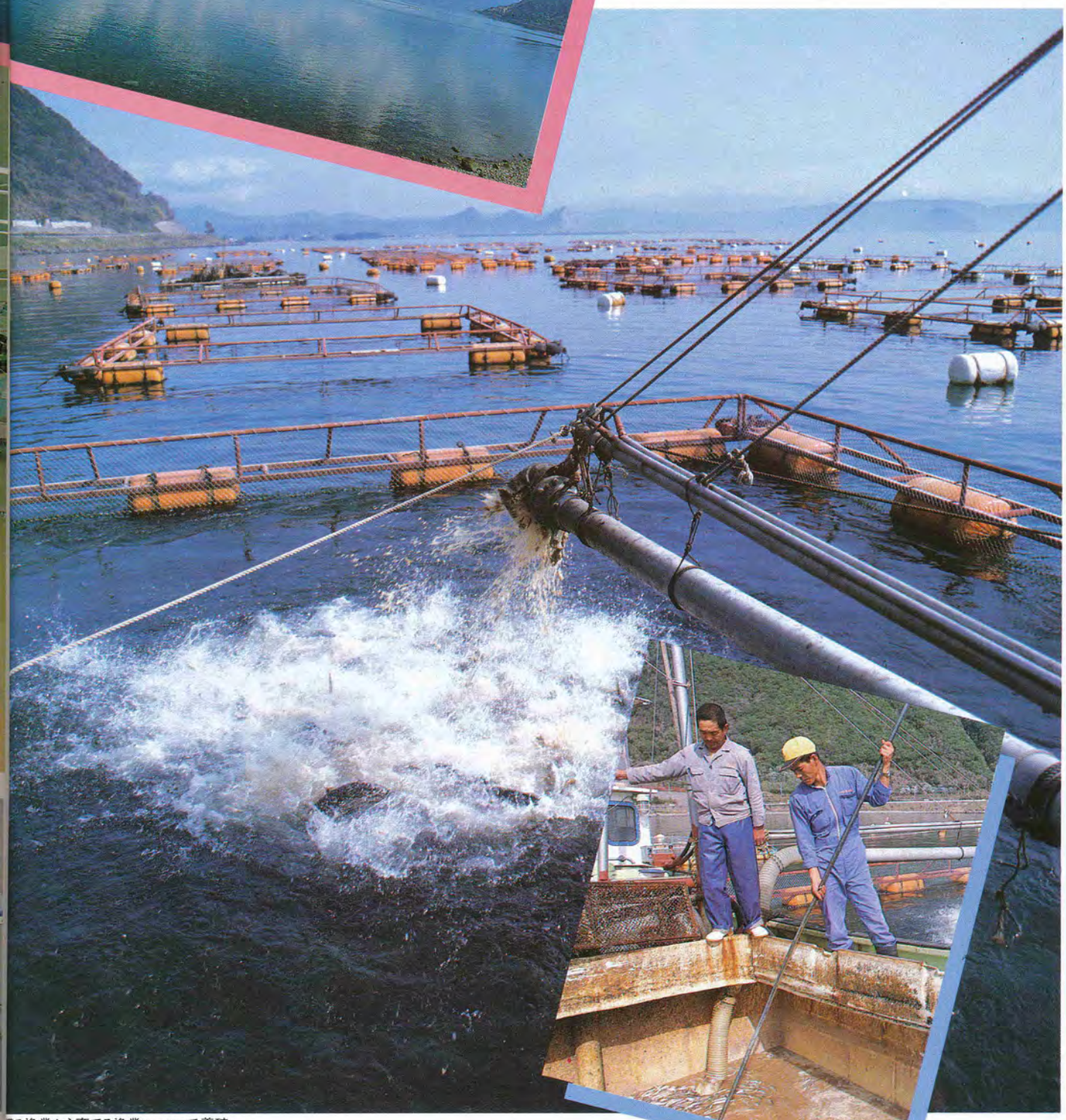
●12月に出荷される早掘たけのこ


●管理の行き届いた竹林

●整備された林道と杉山

水産業

本町の漁業は湾奥の閉鎖海域における沿岸漁業のため魚族の回遊が少ないという不利な条件にはありますが、町と漁協が一体となって漁礁や築磯の設置による資源の確保や漁港の局部改良等生産基盤の整備に努めています。主な水場は、養殖漁業のハマチ・ワカメ・小型定置網・刺網・一本釣りのスズキ・キス・タコ類などです。



獲る漁業から育てる漁業へ、ハマチ養殖

商業

商店は、帖佐駅前(十字路付近)、役場周辺に集中し、他は各地区に散在しているため商店街としての機能が充実していません。

このため、日常生活用品以外の購買力は町外流出の傾向があり、いまひとつ伸び悩んでいます。

したがって今後も予想される消費需要の増大や大型店舗等の進出に対処するために商工会を中心とした経営知識・経営技術の研修をはじめ経営の近代化・共同化等企業の経営努力と相まって金融の円滑化・商店街の整備を図り消費者への利便性を高め購買力の増大を推進します。

●品数の豊富なマーケット

●きれいに展示された衣料品売場

●たくさんの人出で賑わう姶良市

●帖佐駅前商店街通り

●マーケット街

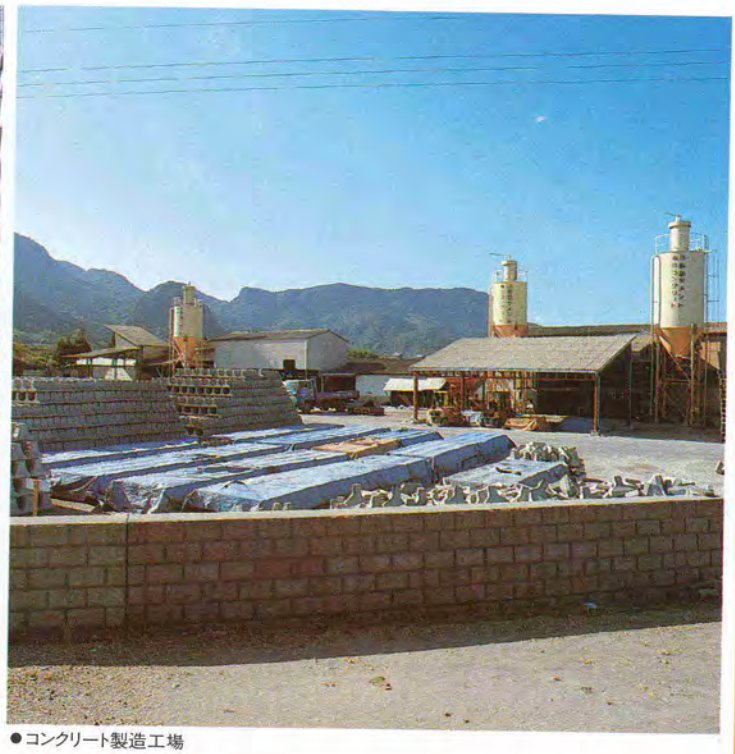
工業

本町の工業は、安定した操業を続けており、現在工場数は六〇、従業員数一三二一人、出荷額一七三億円となっています。

業種別では食糧品製造業・窯業・木材・木製品製造業の順となっています。今後はテクノポリス圏域での立場からも積極的に企業誘致に取り組み雇用機会の増大と所得の向上を目指します。

ICパッケージの製造工場

醸造ガマの製造工場

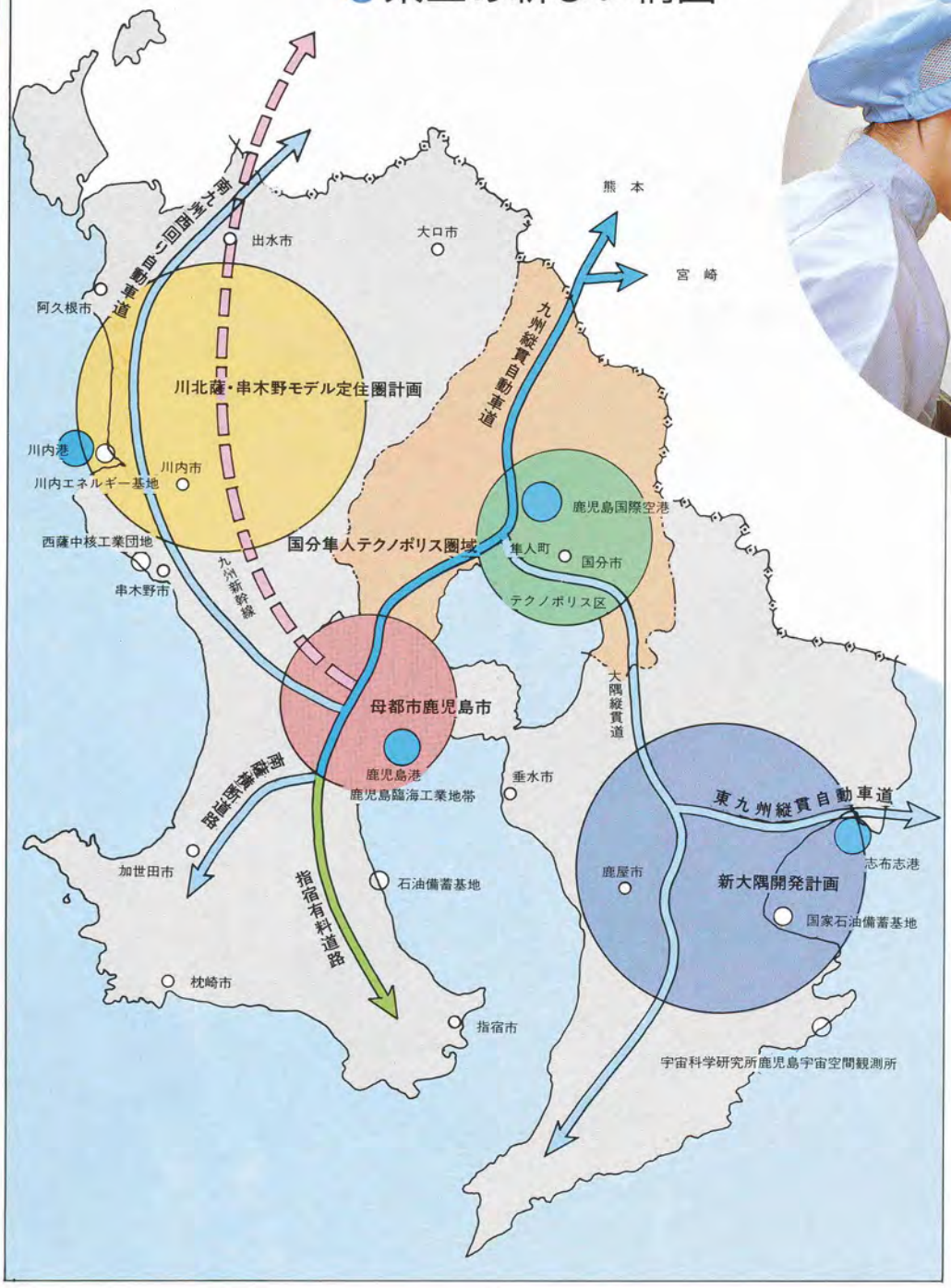

●コンクリート製造工場

乳製品工場

●縫製工場

●パン・菓子類の工場

●県土の新しい構図



●テクノポリス

国分・隼人テクノポリス開発構想は昭和五十九年三月に国の承認を受け、二十一世紀に向けて先端産業と学術機能、住環境を有機的に結合させた高度技術集積都市づくりが始まっています。

本町においても母都市鹿児島市からテクノポリス区に至る湾岸都市のほぼ中間に位置する結節都市に位置づけられているので、鹿児島市に二十五分、鹿児島空港に二十五分という地理条件をいかし、住環境の整備と企業誘致を促進し、経済の活性化と定住社会の形成に努めます。